

## 【実践事例（４）】

（丸森町立館矢間小学校）

### 複数体制で行う安全点検

#### 取組方法

- 1 毎月の安全点検は、学年ごとに教職員が複数人のグループを編成して実施している。
- 2 点検場所もグループごとにローテーションし、点検がマンネリ化しないよう努めている。
- 3 点検により集約した不良箇所等については、町教育委員会に報告し、連携した安全管理に努めている。



### 児童の活動状況等を踏まえた、複数の目での日常の安全点検（大崎市立古川第五小学校）

#### 取組方法

- 1 休み時間等に、校庭のサッカーゴール付近で児童がよく遊んでおり、管理職等による巡視の際、サッカーゴールがしっかり固定されているか負荷をかけてみたところ、グラつきがあったことが分かった。
- 2 学校行事も開催されることから、土に埋まっている部分も点検するため、ゴールポストを倒してみると、根元が腐食しており、安全のため撤去することとした。また、ゴールのネットもほつれている部分があり、児童の首が入ると危険であることなどが確認できた。



根元が腐食したゴールポスト→

- 3 児童の普段の活動の様子を観察する中で発見した危険について、複数の目で安全点検を行い、対策を講じている。